

公益社団法人日本地震工学会 第 59 回理事会議事録

A.日時： 2022 年 8 月 2 日（火） 16 時 00 分～19 時 00 分

B.場所： 建築会館および ZOOM によるオンライン会議

C.出席者：（会長）清野純史、（副会長）東 貞成、藤田 聡、松岡昌志

（担当理事）西村拓也、小林実央、古屋 治、山田岳峰、入江さやか、多幾山法子、鳥澤一晃、池田隆明、能島暢呂、市村 強、楠 浩一、近藤伸也、井上和真、小檜山雅之

（監事）五十田博、末富岩雄

オブザーバ出席：戸田薫子事務局長、小松康典事務局員、石井衣織事務局員

※下線は欠席者

D.議題および提出資料：

議題（見え消し線は中止になった議題）

報告事項

- | | |
|---|----------|
| 1) 第 58 回理事会議事録（案）確認（小林理事） | 資料 59-01 |
| 2) 2022 年度役員選挙に関する報告（山田理事） | 資料なし |
| 3) 会務報告（西村理事） | 資料 59-02 |
| 4) 会計報告（古屋理事） | 資料 59-03 |
| 5) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 59-04 |
| 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（西村理事） | 資料 59-05 |
| 7) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事） | 資料なし |
| 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事） | 資料 59-07 |
| 9) 論文集編集委員会からの報告（能島理事） | 資料 59-08 |
| 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（近藤理事） | 資料 59-09 |
| 11) 2022 年度大会に関する報告（楠理事・市村理事） | 資料 59-10 |
| 12) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 59-11 |
| 13) 将来構想委員会からの報告（東副会長） | 資料 59-12 |
| 14) 関東大震災 100 周年共同記念事業に関する報告（東副会長・市村理事） | 資料なし |
| 15) ぼうさいこくたい 2022 における講演に関する報告（池田理事） | 資料 59-14 |
| 16) IAEE ND に関する報告（池田理事） | 資料なし |
| 17) 津波荷重の評価技術と体系化研究委員会報告会の開催報告（松岡副会長） | 資料 59-16 |

議案

- | | |
|---------------------------|----------|
| 第 1 号 入退会者（小林理事） | 資料 59-17 |
| 第 2 号 委員会委員の委嘱 | |
| 第 3 号 共催・後援・協賛等（小林理事） | 資料 59-19 |
| 第 4 号 海外の学術団体との協力協定（池田理事） | 資料 59-20 |

懇談事項

- | | |
|---|----------|
| 1) 2024 年アジア地震工学会議の開催について | |
| 2) 「地中構造物に作用する地盤反力に関する研究会」報告会案について（松岡副会長） | 資料 59-22 |

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 3) 日本地震工学論文集のフリーアクセス・ジャーナル化について（能島理事） | 資料 59-23 |
| 4) 会員制度見直しおよび賞の副賞創設案について（西村理事・事務局） | 資料 59-24 |
| 5) 大会開催のクレジット決済について（事務局） | 資料 59-25 |
| 6) 第 11 回日本地震学会・日本地震工学会長懇談会について（西村理事） | 資料 59-26 |

E.議事録：

議題

報告事項

- 1) 第 58 回理事会議事録（案）確認（小林理事）
 - ・ 小林理事より資料 59-01 に基づいて第 58 回理事会議事録案の説明が行われた。P.3 の報告事項「13)論文集編集委員会からの報告」の 3 項目の表記の訂正（JAEE 論文集の中に引用しても良い→JAEE 論文集に投稿しても良い）が修正事項として挙げられた。左記を修正することを前提に議事録は承認された。
- 2) 2022 年度役員選挙に関する報告（山田理事）
 - ・ 山田理事より 8 月 1 日より投票が開始されたこと、および、理事各位におかれては周囲の会員へ投票を促していただきたいとの報告がなされた。
- 3) 会務報告（西村理事）会務報告（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 59-02 に基づいて会務報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 4) 会計報告（古屋理事）会計報告（古屋理事）
 - ・ 古屋理事より資料 59-03 に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 5) 広報部会からの報告（入江理事）
 - ・ 入江理事より資料 59-04 に基づいて、日本地震工学会誌No.46 の記者クラブへの配布について報告がなされた。
- 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（西村理事）
 - ・ 西村理事より資料 59-05 に基づいて、多幾山理事の代理で報告がなされた。
 - ・ 資料 59-05 の記載内容について、質問・コメントがあれば、多幾山理事へメール等でお送りいただきたい。
- 7) 会誌編集委員会からの報告（鳥澤理事）
 - ・ 鳥澤理事より、10 月発刊の会誌（第 47 号）の編集は予定通り進んでいるとの報告がなされた。
- 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（池田理事）
 - ・ 池田理事より資料 59-07 に基づいて、地震災害対応委員会、国際委員会の活動について報告がなされた。
 - ・ 海外の地震工学関連学会との連携のため、「インドネシア地震工学会」、「タイ王国王立工学会」、「台湾地震工学会」と協定を結ぶ準備を進めている、との報告がなされた。
- 9) 論文集編集委員会からの報告（能島理事）
 - ・ 能島理事より資料 59-08 に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。
 - ・ 第 1 回論文集編集委員会が 7 月 25 日に開催された。
- 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（近藤理事）
 - ・ 近藤理事より資料 59-09 に基づいて、事業企画委員会（企画）の活動について報告がなされた。
 - ・ 第 1 回事業企画委員会が 8 月 1 日に開催された。
- 11) 2022 年度大会に関する報告（楠理事・市村理事）
 - ・ 楠理事、市村理事より資料 59-10 に基づいて、2022 年度大会の準備状況について報告がなされた。

- ・ 年度大会の告知の HP（ホームページ）案（日本語版、英語版）について報告がなされた。
- ・ 8 月 17 日に第 1 回大会実行委員会を実施し、企業展示、招待講演、基調講演、分野横断型の特別セッションについて議論する予定。第 2 回大会実行委員会は 9 月 14 日実施予定。
- ・ 上記 HP 案について、異議なく承認された。今後は大会実行委員会で同 HP 案を確認後、理事各位に最終 HP 案をメールで提示し、HP として公開する。

12) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事）

- ・ 小檜山理事より資料 59-11 に基づいて、16JEES についての報告ならびに開催に関する提案がなされた。
- ・ 第 1 回の運営委員会（キックオフ会議）が 7 月 1 日に開催された。
- ・ 「株式会社防災ログ」との間で締結をする「業務委託契約書案（資料 59-11-2）」、「個人情報預託基本契約案（資料 59-11-3）」、「SLA(Service Level Agreement)（資料 59-11-4）」、「個人情報の保護と機密保持に関する誓約書（資料 59-11-5）」が説明され、異議なく承認された。

13) 将来構想委員会からの報告（東副会長）

- ・ 東副会長より資料 59-12 に基づいて、将来構想委員会の活動について報告がなされた。
- ・ 第 17 回将来像検討 WG が 7 月 27 日に開催された。
- ・ 最終的な理事会へ提出するとりまとめ案については、20 周年記念の PD 資料（PPT 資料）のような概要版を別途作成する仕様で進めるとのこと。
- ・ これまで検討した内容を 12 月の 2022 年度大会においてポスター発表の形で公表して会員から意見を聴取したい。そこで、11 月末を目途にとりまとめ案（draft）の第 1 版を作成するスケジュールで進めるとのこと。上記ポスター発表の実施について、今後、年次大会担当の理事・スタッフとも相談をさせていただきたいとの報告がなされた。

14) 関東大震災 100 周年共同記念事業に関する報告（東副会長・市村理事）

- ・ 東副会長より、日本地震学会側の動向として、大会企画委員会（7 月 5 日）にて JAEE の共催承認が報告され今後は日本地震学会でも共催の手続きが進む予定、との報告がなされた。

15) ぼうさいこくたい 2022 における講演に関する報告（池田理事）

- ・ 池田理事より資料 59-14 に基づいて、ぼうさいこくたい 2022 における講演（オンライン形式）について中央大学有川先生に引き受けていただいたとの報告がなされた。

16) IAEE ND に関する報告（池田理事）

- ・ 池田理事より清野会長に代わり IAEE ND に関する報告がなされた。
- ・ これまで前会長の中埜先生が就任されていたが、4 年 2 期を務め昨年 WCEE を無事終えられたということで交替の申し出があった。清野会長、現任 3 副会長、山中前副会長、総務担当理事、国際担当理事から ND 候補者を募り、最終的には清野会長、総務担当理事、国際担当理事で協議した結果、満場一致で東北大学の越村俊一教授が候補者として選任された。その後清野会長から越村先生のご内諾を得て、IAEE に提出する National Organization Report に 7 月 13 日付で越村先生よりサインをいただいた。越村先生の任期は 2022 年 7 月からの 4 年後の 2026 年 7 月までとなる。
- ・ 上記の報告について、異議なく承認された。

17) 津波荷重の評価技術と体系化研究委員会報告会の開催報告（松岡副会長）

- ・ 松岡副会長より資料 59-16 に基づいて、津波荷重の評価技術と体系化研究委員会報告会が 7 月 4 日に開催されたとの報告がなされた。

上記の通り出席した業務執行理事より業務報告がなされた。

議案

第1号 入退会者（小林理事）

- ・ 小林理事より資料 59-17 に基づいて入退会者の報告がなされた。入会者および退会者に関して、異議なく承認された。

第2号 委員会委員の委嘱

第3号 共催・後援・協賛等（小林理事）

- ・ 小林理事より資料 59-19 に基づいて共催 1 件、後援 1 件が報告され、異議なく承認された。

第4号 海外の学術団体との協力協定（池田理事）

- ・ 池田理事より資料 59-20 に基づき海外の学術団体との協力協定について説明がなされた。
- ・ 先に AOC（Agreement of Cooperation）を締結し、その後具体的な内容で MOU（Memorandum of Understanding）を締結する方式で手続きする方針が示された。本議案では、AOC の標準書式および今後の協定締結計画について説明がなされ、異議なく承認された。

懇談事項

1) 2024 年アジア地震工学会議の開催について

2) 「地中構造物に作用する地盤反力に関する研究会」報告会案について（松岡副会長）

- ・ 松岡副会長より資料 59-22 に基づき報告がなされた。
- ・ 予算案における参加人数がかなり抑えられているのでオンライン開催など参加者をさらに増やす方策を検討したほうがよい、印刷費に比べ参加費が相対的に安価になっており収支面での改善をはかったほうがよい、といった意見が挙げられた。

3) 日本地震工学論文集のフリーアクセス・ジャーナル化について（能島理事）

- ・ 能島理事より、資料 59-23 に基づき、日本地震工学会論文集のフリーアクセス・ジャーナル化が提案された。
- ・ JST では、科学技術刊行物のオープンアクセス化の推進を目指して研修会を開催している。
- ・ フリーアクセスだと all rights reserved になり、オープンアクセスだと著作権の段階がいくつかにきめられるということになる。
- ・ オープンアクセスにするために登載費を上げることも考えられるが、現時点では据え置きの方角で検討している。今後他ジャーナルの動向を確認していくことになる。また、論文ごとに著者がオープンアクセスか要認証かを選択できるようにして、それに見合った論文掲載料（APC）を課す方法もあるが、身近なジャーナルでの事例がないので、リサーチが必要。
- ・ 会員特権（エンバゴ中の論文閲覧）のために会員に留まる、といった方はそんなにはいらっしやらないと想定するので提案には異論は無い、フリーアクセスの段階まで先ず進むのが良く権利関係について整理して利害関係者の着地点を探りながら進めていくという提案通りでよい、世界各国の方々に見てもらえるのが重要という観点から先ずはフリーアクセス化するのがよい、といった賛同の意見が挙がり、能島理事からの提案は異議なく承認された。
- ・ 次回理事会で本提案の具体案を提示する予定。

4) 会員制度見直しおよび賞の副賞創設案について（西村理事・事務局）

- ・ 西村理事・事務局より資料 59-24 に基づき、会員制度見直し（研究室パック割、シニア会員）および賞の副賞創設案について説明がなされた。
- ・ 第 58 回理事会での討議および日本自然災害学会への聞き取り調査、会員の年齢構成調査等を踏まえ、本理事会にて再度提案するもの。
- ・ この会員制度の見直しには、会員規則、会員の特典催促の変更を伴う。

- ・ 博士（後期）課程も学生会員であり、研究室パックの対象になる。
 - ・ 65 歳定年で在籍割合が 5%（13%→8%）減っている現状からすると更に会費を半額にするのはディスカウント幅が大きすぎるのではないかと、大学では 75 歳まで現役という事例もあり民間の 65 歳定年などの活動年限とは同じではないので年齢構成について官民比率を確認してはどうか、フェロー制度を設けている学会もあるので同制度が引き留め策になるかも検討してはどうか、といった意見が挙がった。
 - ・ 副賞創設に際しては、メダル作成代とデザイン代に加え、別途刻印の費用を雑費としてみておく必要がある。
 - ・ 上記の通り未だ様々なご意見がある状況であり、本事項については、継続検討とする。
- 5) 大会開催のクレジット決済について（事務局）
- ・ 事務局より資料 59-25 に基づき、大会開催のクレジット決済方法について説明がなされ、異議なく承認された。
- 6) 第 11 回日本地震学会・日本地震工学会長懇談会について（西村理事）
- ・ 西村理事より資料 59-26 に基づき、第 11 回日本地震学会・日本地震工学会長懇談会の JAEE 側からの提供議題を「コロナ禍での学会活動」「16JEES の準備状況」「両学会共同事業について」「将来像検討 WG での取り組み内容の紹介」「事務局業務に関する情報交換」とする提案がなされ、異議なく承認された。

次回予定：第 60 回理事会 10 月 18 日（火）16-19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 藤田 聡

監事 五十田 博

監事 末富 岩雄